

祝祭日には国旗を掲揚しましょう

敬神尊皇 黎



明報恩感謝

監修/日刊ひぐらし 〒151-0071東京都渋谷区本町1-30-18-107 <http://www.higurashi.net/> 第0008号
護國青年會議 <http://www.gokoku.net/> 発行人/山本修三 編集人/戸出蒼流 平成17年1月1日

年頭所見 「災」という字が昨年を表す漢字として選ばれたように、国内外では大災害が発生し、改めて大
自然の脅威を思い知らされた一年でした。昨年は申年であり全ての災いや不幸が“去る年”と捉え災難や忌事を
忘れサルのが良いでしょう。酉年の今年はあらゆる祝事や幸福を“取り年”とするよう精進しましょう。

酉年の守り本尊は厄除け開運の功德があるとされる「不動明王」です。背後の火焰は人々の煩惱と災いを焼き
尽くし、右手に持った宝剣で悪行を断ち切り、左手の羂索(縄紐)で心が乱れ揺れ動かないように縛り、信念を
持って悪に立ち向かう頼もしい守り本尊です。我々は民俗派愛国者の一人として初心を忘れることなく活動に
専念し、不動明王のように諸悪を断ち切って行く所存です。読者各位には本年も倍旧のご協力を賜りますよう
謹んでお願い申し上げます。 皇紀2665年正月 スタッフ一同

教育が国を滅ぼす 昨年末、同志の吉田源太君が「ゆとり教育の愚かさ」を指摘していましたが、確かに吉田同志の
指摘された通りであると思う。「ゆとり教育」は紛れもなく自社さ連立政権の負の遺産であり、70年代以降、日教
組が主張している「子供中心主義」と「給料の分だけ働けば良い」とするサラリーマン教師の言い草を文部科学省が取
り入れたに過ぎない。現在、日本以外の国では、国際競争に勝ち抜くため教育に力を注ぎ子供達を徹底的に鍛えて
いるようだ。ところが日本の戯け教師達は、「子供中心のゆとりある教育」という美名のもとに学力の低下と秩序の
乱れという弊害を助長させている。そしてその弊害こそが、連日のように新聞紙上を賑わ
している「殺伐とした事件」の要因と成っていると言えるでしょう。また、その背景には、
平成5年の細川内閣の発足による政権の左傾化があることは否めない事実である。

インドの学校では、19×19の掛け算の暗唱を徹底してやらせているようだ。また米国で
は「知は力なり」という標語を掲げ、朝7時半から夕方5時半まで、みっちり勉強させて
いるという。しかし日本は「ゆとり教育」と称する「教育の武装解除」によって質的低下
を晒しているのが現状である。米国の学校に掲げてある「知は力なり」という言葉は云い得
て妙である。知っていると言うことは力となり、知らないから騙されたり惑わされたりす
るのである。将来の日本を担う子供達に言いたいことは「正しい事実を知りなさい!」と
いうことだ。ところが日本の歴史教科書は、史実を蔑ろにするだけでなく、近隣諸国の主
張を優先し、事実上他国の検閲を受けなければならないことになっている。



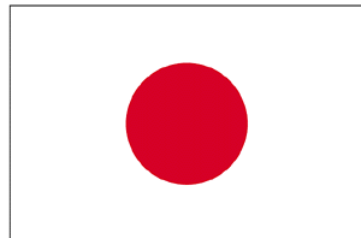
嘆いている

二宮金次郎は

支那や朝鮮の検閲を受けなければならない教科書を使い、無垢な小学生に自虐史観を植えつけることは、行政の重
大な過失であり、左傾化した教師どもは「日本は侵略者であり悪である。中国や韓国は一方的に侵略を受けた被害者
であり、正しいのは中国や韓国である。日本が補償するのは当然だ」と純朴な子供達を洗脳している。このような誤
った教育は国を滅ぼす元凶である。東京都が今年度より「新しい教科書を作る会」の教科書を採択することになっ
たが、政府は石原知事の英断を重く受け止め、教育現場に自虐史観を払拭した正しい歴史教育をするよう指導すべ
きである。 編集人/戸出蒼流

切望、防共興亜

先日、東京裁判で東条英機元陸軍大将の戦後から東京裁判でA級戦犯の汚名を着せられ、処刑さ
れるまでを描いた映画「プライド - 運命の瞬間 - 」を觀賞しました。ご存知のように
東京裁判は、裁判とは名ばかりで、戦勝国が敗戦国の指導者達を捕らえ、犯罪者と決
め付けて処刑した国際法にも違反する非文明的な裁判であり、日本に対する復讐に他
なりません。国家と民族が存在する以上、国家の利益と民族の利益を自衛することは
当然のことであり、日本は欧米のような侵略戦争をしたのではなく、自衛のため止む
に止むまれず戦争に踏み切ったのであります。



命をも厭わず大東亜戦争の正当性を訴えた東條閣下の生涯と潔く刑を受け入れた陸軍
軍人としてのプライドに心から感謝と尊敬の念を捧げます。私が幼い頃に祖母が言っていた「東條さんは、猫好きな
優しい方だったのよ...」という言葉思い出し、涙が頬を伝うのを禁じ得ませんでした。支那がチベットやウイグル
に続き台湾や我国を視野に入れた拡大政策を執っている今、日本国民全員が「国を護る」ということを真摯に考え
なければならないと思います。 劔之會理事//吉田源太

祝祭日には国旗を掲揚しましょう！ 日刊ひぐらし